## 法人経営を担い得る人材の計画的な育成について

学内人材の育成については、本学では教員をコース長、専攻長、センター長等、副学長、役員のように、段階を追って重要な役職に配置することにより、その者の力量を判断し、大学経営を担わせるにふさわしいと認めた者については、法人経営上重要な役職に配置する等などして人材を育成する方針としている。

また、知識、経験、能力に基づいて、学長の命を受け特定の校務を掌る学長特別補佐を任命するなど、法人の長を補佐するポストに適任者を登用して法人経営の一端を担わせるなど、早い段階から法人経営の感覚を身に付けさせ、次代の経営人材を育成している。

更に国立大学協会が主催するユニバーシティ・デザイン・ワークショップに教職員を参加させることにより、経営能力の向上に努めている。

また、本学では、法人経営を担う人材として事務職員の育成・高度化も重視している。人事院、国立大学協会等が実施する各種研修に加え、学内においても、事務職員等の高度化に向けた各種研修を実施している。特に令和２年度には、私立大学に事務職員を初めて研修派遣し、本学と受入れ大学双方の大学改革、強み・特色、課題等に関する意見交換を行う等、事務職員の育成・高度化のための実践的な取組を行っている。

以　上